

教科名		国 語 科	科 目 名	講 読
対象学年		中学 1 年	コース・選択等	——
単位数		3 単位	教科書 (出版社)	伝え合う言葉 中学国語 1 (教育出版)
使用教材		「国語の学習 1」(浜島書店)、「愛知県版国語便覧」(浜島書店)、「ステップ別常用漢字」(浜島書店)、「夏期テキスト」(文理)		
学習のねらい		文学的文章や説明的文章、詩歌などの様々な表現について、その内容を正確に読み取り、鑑賞する。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	4 月 5 月	・ふしぎ (詩) ・弁論作文 ・聞くということ (随筆) ・昔話と古典 一箱に入った桃太郎 (古文)	・言葉をとおして自分と相手を理解する。 ・古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	・詩のリズムを味わい、表現技法の種類を確認する。
	6 月 7 月	・自分の脳を知っていますか (説明文) ・蜘蛛の糸 (物語) ・「エシカル」に生きよう (説明文)	・意見と根拠などの関係について理解する。文章の中心的部分や付加的な部分、事実と意見との関係を捉え、要旨を把握する。 ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	・物語文、説明文の特徴をとらえて読む。
	9 月 10 月	・森には魔法つかいがいる (説明文) ・物語の始まり 一竹取物語 (古文) ・蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談 一竹取物語 (古文)	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典に親しむ。登場人物の関係や心情に注意して、内容を理解する。	・時代による文化の違いを比較検討する視点を持つ。 ・平安時代の人々の生活、考え方にふれる。

学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	11月 12月	・ 子どもの権利（説明文） ・ デューク（物語）	・ 専門的な事柄を表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。反論を用いた文章の構成や展開に着目し、筆者の主張を読む。 ・ 他者とのふれあいによって変化していく主人公の心情に着目して読む。	・ 人物の心情を深く掘り下げて読む。
	1 月	・ 故事成語 一中国の名言（漢文）	・ 漢文訓読の仕方を理解し、音読して、漢文に慣れる。 いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。	・ 日本文化における漢文の位置づけを知る。
	2 月 3 月	・ 少年の日の思い出（物語）	・ 行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 語り手に着目して作品を読み、交流をとおして自分の考えを確かなものにする。	・ 工夫された表現を味わい、人間の心の深い部分を読み取る。
学習の 留意点・ 評価など		・ 主題を正確にとらえ、一つの理解に対して文章中にその根拠を持って説明できるような力を養い、確認する。 ・ 説明文、文学的文章ともに、さらに深めた読み取りをめざす。 ・ 古文・漢文の表現、日本文化における意義を理解する。		
備 考				

教科名		国 語 科	科 目 名	文 法
対象学年		中学 1 年	コース・選択等	――
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	
使用教材		「中学国文法のドリル」(吉野教育図書)・「ロジカル国語表現Ⅰ」(好学出版)		
学習の ねらい		これまで学習してきた日本語の断片的な知識を整理し、正しく理解する。また、文章を正確に読み取り、わかりやすい文章を書かせるなど、正しい言葉遣いを身につける。 論理的思考力と創造的表現力を育てるため、「ロジカル国語表現Ⅰ」を用いて、論理の仕組みを基本から学ぶ。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	4 月	〔口語文法〕 1. 言葉の単位 2. 文の組み立て	・ 文節、単語などの言葉の基本的な単位を理解する。 ・ 文節と文節の関係やその働きを理解する。 ・ 単語がその性質や働きによって品詞に分けられることを知る。	・ 日常生活の中で、何気なく使っている言葉が、一定の決まりに従って用いられているものであることを、観察や反省を通じて発見し、理解する。
	5 月	3. 単語の種類		
	6 月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 4. 単元 1 ～ 3	・ 言葉の使い方、文の組み立てを学び、書くことの基礎を身につける。	
	7 月	〔口語文法〕 5. 副詞 6. 接続詞	・ 各品詞の特徴、特に活用について理解する。	
	9 月	〔口語文法〕 7. 用言		
	10月			
	11月			
	12月			
	1 月			
	2 月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 8. 単元 4 ～ 7	・ 接続語、因果関係、具体と抽象、対比、文章の構成から論理のしくみを学ぶ。	
	3 月			
学習の 留意点・ 評価など		「読む」「書く」「聞く」「話す」などの日常生活の上で文法（ことばのきまり）を理解し、論理的な文章を書く力をつけることができたか。		
備 考				

教科名		国 語 科	科 目 名	講 読
対象学年		中学 2 年	コース・選択等	——
単位数		3 単位	教科書 (出版社)	伝え合う言葉 中学国語 2 (教育出版)
使用教材		「国語の学習 2」(浜島書店) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店) 「愛知県版国語便覧」(浜島書店) 「夏期テキスト」(文理)		
学習のねらい		一年時に学習した知識をもとに、文章に対する理解を深める。習得した語句、文章の構成などをもとに自分の考えを適切に表現できるようにする。日本文化その他さまざまな事象に対して書かれた文章を正しく読み取り、それについて自分の考えを表現できるようにする。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	4 月 5 月 6 月 7 月	「虹の足」(詩) 「タオル」(小説) 弁論作文 「字のない葉書」(随筆) 「枕草子・徒然草」(古文) 「日本の花火の楽しみ」 (説明文)	・ 詩の主題を掘り下げる。 ・ 登場人物の心情の流れ を理解する。 ・ 古典文学を味わう。 ・ 筆者の主張を読み取る。	・ 1 年時の学習をさらに 進めた理解・表現がで きるようにする。
	9 月 10 月 11 月 12 月	「走れメロス」(小説) 「孔子の言葉」(漢文) 「ガイアの知性」(説明文) 「短歌の味わい」(短歌)	・ 「信じる」ことの意味 について考える。 ・ 古人の思想に触れる。 ・ 人間を取り巻く自然の 奥深さを理解する。 ・ 表現方法に注目して短 歌を味わう。	・ 長く読み継がれている 名作を味わう。 ・ 人間の生き方について 考える。 ・ 人間も地球環境の一部 であることを理解する。 ・ 伝統的な日本の短詩文 学を味わう。
	1 月 2 月 3 月	「敦盛の最期」(古文) 「扇の的」(古文) 「夏の葬列」(小説)	・ 平家物語を通して、武 士という生き方につい て考える。 ・ 戦争が民間の人々に残 した爪痕の痛みを読み 取る。	・ 独特の古文表現を理解 する。 ・ 戦争の歴史の上に今の 平和があることを自覚 する。
	学習の 留意点・ 評価など		・ それぞれのジャンルの特徴をふまえて、それに応じた読解のしかたを工夫して教える。	
	備 考			

教科名		国語科	科目名	書写・文法
対象学年		中学2年	コース・選択等	―――
単位数		1単位	教科書 (出版社)	中学書写（教育出版）
使用教材		「中学国文法のドリル」（吉野教育図書）・「ロジカル国語表現Ⅰ」（好学出版）		
学習のねらい		・ 正確な理解と的確な表現力を身につけるために、断片的な文法の知識を系統的に学習し、それぞれの品詞の働きと意味について理解する。（文法） ・ 文字を正しく整えて書くことができるように行書の練習をするとともに、文字感覚の育成と書写能力を日常的に役立てることを目指す。（書写） ・ 論理的思考力と創造的表現力を育てるためにテキストを用いて、論理を利用し実践的な文章を読んだり、書いたりできるようにする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	4月 5月	〔口語文法〕 1年生の復習 品詞の分類・用言・その他	品詞の分類や用言の活用を復習し、理解を深める。	・ 現代文法における品詞の種類、助動詞や敬語の意味や用法を正しく理解し、日常の中でも適切に使用できるようにする。 ・ 中3で学習予定の古典文法の学びにつなげる。 ・ 正しい姿勢で丁寧に文字を書く、文字の配置や大きさを考えて書くなど、日常生活においても役立てられるようにする。
	6月 7月	〔口語文法〕 助詞 (試験後) ロジカル国語表現（対比）	助詞について理解し、適切に用いることができるようにする。 対比を学び、講読の学習に繋げる。	
	9月 10月	〔口語文法〕 助動詞	助動詞について意味や用法を理解し、適切に用いられるようにする。	
	11月 12月	〔口語文法〕 助動詞 敬語の用法 紛らわしい品詞の見分け方 (試験後) 〔書写〕 1. 行書の学習 行書の筆づかいと字形 点画の連続、点画の変化と省略（硬筆）	助動詞について意味や用法を理解し、適切に用いられるようにする。 敬語の意味や用法を正しく理解する。 紛らわしい品詞について理解し、区別できるようにする。 正しい姿勢で集中し、文字を丁寧に書く。	
	1月 2月 3月	〔書写〕 2.いろは歌（毛筆） 3.ちらし書き（毛筆） 〔口語文法〕 単文、複文、重文 動詞の復習 ロジカル国語表現 (文章の構成)	筆づかい、行書特有の書き順に触れ、書写に親しむ。 文字の配置や大きさを考える。 書写が日常生活の中で役立てられるようにする。 複雑な文の構造を理解する。 中3で学習予定の古典文法の学びにつなげる。	
学習の留意点・評価など	1年生時に学んだ文法（ことばのきまり）を復習・理解し、定着させることができるか。 敬語などの用法を正しく理解し、日常生活においての使用ができるか。 姿勢や書き順など、文字自体の美しさにとらわれず整えて書くことができるか。			

教科名		国語科	科目名	講読
対象学年		中学3年	コース・選択等	——
単位数		3単位	教科書 (出版社)	伝え合う言葉 中学国語3 (教育出版)
使用教材		「国語の学習3」(浜島書店)、「愛知県版国語便覧」(浜島書店)、 「ステップ別常用漢字」(浜島書店)、「夏期テキスト」(文理)		
学習のねらい		文学的文章や説明的文章、詩歌などの様々な表現について、その内容を正確に読み取り、鑑賞する。 また、言語活動を通して自覚的に「国語(言葉)」と向き合う。		
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単元	ねらい	留意点
	4月 5月	・春に(詩) ・なぜ物語が必要なのか(随筆) ・メディア・リテラシーはなぜ必要か?(論説) ・漢字の広場2 熟字訓	・詩の表現が持つ特徴や効果を理解し、語感を磨く。作品と共感的に出会う。 ・文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・筆者の主張を捉え、批評する。 ・熟字訓についての理解を深める。	・詩の理解や表現に必要な語感を磨き、語彙を増やす。 ・随筆や論説文の特徴について理解を深め、構成や展開を捉える。
	6月 7月	・生命とは何か(論説) ・AIは哲学できるのか(論説) ・俳句の味わい(説明文) ・俳句十五句(俳句) (期末テスト後) ・語り継ぐもの(読書) ・漢字の広場3 異字同訓	・生命について考えを深める。 ・科学技術と人間のあり方を考える。 ・俳句の中の言葉の使い方注意到し語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・戦争体験を伝えることの意義を理解する。 ・異字同訓についての理解を深める。	・生物としての人間を考察する。 ・科学の持つ様々な側面を知る。 ・俳句の表現特性に注目しながら鑑賞する。 ・平和教育の大切さを知る。

学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	ねらい	留意点
	9月 10月	・ 薔薇のボタン（随筆） ・ 初恋（詩） ・ 漢字の広場 4 四字熟語	・ 修学旅行前に「戦争」や「原爆」について考えを深め、当時の人々の日常生活と現代を生きる自分たちとのつながりを感じる。 ・ 平和を願い、語り継ぐことの大切さを受け止める。 ・ 日本近代詩の代表的な叙情詩として知られる本作品の文体の特徴を理解し、詩の構成や展開、表現の仕方などを味わう。 ・ 四字熟語についての理解を深める。	・ 作品を通して知識を広げ、自分の考えを深める。 ・ 原爆詩の朗読を通して平和の尊さを感じる。 ・ 文語定型詩について、文体の持つ特徴に気づき、詩の魅力を味わう。 ・ 四字熟語の構成や成り立ちに触れ、興味・関心を高めつつ語彙の獲得につなげる。
	11月 12月	・ 問いかける言葉（論説） ・ 青春の歌 ― 無名性の光（短歌の鑑賞文）	・ 筆者の主張とその根拠を関連づけて読み、筆者の立場やものの見方、考え方を捉える。 ・ 青春にまつわる複数の短歌とその解説を読み比べ、筆者の考えやその根拠を知りつつ短歌の世界を味わう。	・ 構成や展開、表現の仕方を捉え、社会や他者との関わりについて考える。 ・ 無名性に着目しながら読み、短歌に描かれた青春というものに対する自分の考えを持つ。
	1月 2月 3月	・ 故郷（小説） ・ async ― 同期しないこと（論説） ・ やわらかな想い（詩）	・ 作者の心情を読み取るとともに、小説の時代背景について理解する。 ・ 筆者の主張とその根拠を関連づけて読み、筆者の立場やものの見方、考え方を捉える。 ・ 詩の中で語られ、問われる「言葉」と「想い」との関係について自分の考えを持つ。	・ 語彙を豊かにし、文学を読み味わう。人間・社会・自然についての自分の意見を持つ。 ・ 構成や展開、表現の仕方を捉え、社会や他者との関わりについて考える。 ・ 「言葉」と「想い」について自ら考え続ける。
学習の留意点・評価など		・ 漢字・語句・文法などの基礎的事項の定着を促し、語彙を豊かにする。 ・ 文章の種類と特徴を考え、中心となる主張や心情を捉えられるようにする。 ・ 補助教材や写真、映像などを使い、教材を実感に近づけるようにする。		
備考				

教科名		国語科	科目名	古典
対象学年		中学3年	コース・選択等	――
単位数		1 単位	教科書 (出版社)	伝え合う言葉 中学国語3 (教育出版)
使用教材		「古典文法クリアノート」(尚文出版)・ 「国語の学習3」(浜島書店)、「愛知県版国語便覧」(浜島書店)		
学習の ねらい		・ 古典文学の世界を知り、古典に親しむ態度を養う。 ・ 文語文法の入り口に触れ、古典読解理解への足がかりとする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月 5 月	・ 五十音図といろは歌 ・ 歴史的かなづかい ・ 動詞 (四段活用)	・ 歴史的かなづかい、品詞、活用形の確認 ・ 動詞の学習 (四段活用・上一段活用・下一段活用・上 二段活用・下二段活用・カ変・サ変・ナ変・ラ変) ・ 係り結びの法則	
	6 月 7 月	・ 動詞 (その他の活用) 徒然草 (仁和寺にある法師) 演習		
	9 月 10 月	・ 万葉・古今・新古今	・ 動詞の復習・定着 ・ 和歌の技法理解・鑑賞	
	11 月 12 月	・ 万葉・古今・新古今 (続き) ・ 漢詩 「春望」・「黄鶴楼」	・ 和歌の技法理解・鑑賞 ・ 漢文訓読の確認と漢詩の鑑賞	
	1 月 2 月 3 月	・ おくのはそ道 旅立ち・平泉・立石寺	・ 古典文学作品の理解・鑑賞 ・ 古語動詞の復習 ・ 形容詞・形容動詞の学習 ・ 用言の復習・定着	
学習の 留意点・ 評価など		文語文法の習得を基盤に据え、古典文学作品の読解に無理なく関わらせていく。 また、文法習得のための練習問題を適宜用意し、利用することで高校への学びにつなげる。		
備 考				

教科名		国 語 科	科 目 名	現代の国語
対象学年		高校1年	コース・選択等	必 修
単位数		2 単位	教 科 書 (出版社)	精選現代の国語（第一学習社）
使用教材		入試漢字と現代文重要語 キーワード漢字2700（浜島書店） プレミアム国語便覧（数研出版）		
学習の ねらい		・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばす。 ・ 他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深める ことが出来るようにする。 ・ 実用文（図表を含む）など様々な分葉を読み慣れると共に、複数のテキストを関連させて理解す る力を養う。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	「『本当の自分』 幻想」 平野啓一郎 【自己と他者】	①内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ②筆者の主張する「個人」とはどのようなものかおさえる。	
	5 月	『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 原田マハ	①現在と過去の交錯を、段落ごとの関係から読み取り、内容を 的確に把握する。 ②登場人物の心情を把握する。 ③戦時中の状況について理解を深める。	
	6 月	「水の東西」 山崎正和 【比較文化論】	①対比されている東西文化の違いについて読み取る。 ②文化論への関心を持つ。	
		「間の感覚」 高階秀爾 【日本文化論】	①二項対立及び、例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約さ せる読解方法を習得する。 ②日本人の意識構造や、日本の伝統について認識を深める契機 とする。	
	7 月	実用的文章	表やグラフなどを含む実用的文章の読み取りの方法を学ぶ。	
	9 月 10月	『羅生門』 芥川龍之介	①登場人物の性格・心理・行動を、場面の展開に即して読み取る。 ②典拠となった『今昔物語集』の説話を読み、比較をする。	
	11月	生と死が創るもの【生命倫理】	①三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の 観点から提示される「死」について考えを深める。 ②筆者の経歴や、歌人として発表しているものを調べ、生と死 について考える。	
	12月	実用的文章	表やグラフなどを含む実用的文章の読み取りの方法を学ぶ。	
	1 月 2 月	『城の崎にて』 志賀直哉	①作者が体験した心境小説であることを踏まえ、独自の死生観 を読み深める。 ②作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。	
3 月	「現代の『世論操作』」 林香里 【情報・メディア】	①内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ②情報操作の具体例を通して、筆者が提起する課題を理解し、 メディア社会に生きるものとしての問題意識を持つ。		
学習の 留意点・ 評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名		国 語 科	科 目 名	言 語 文 化
対象学年		高校 1 年	コース・選択等	必 修
単位数		2 単位	教 科 書 (出版社)	精選言語文化（第一学習社）
使用教材		基礎学習システム必修古文（数研出版） 基礎学習システム必修古文演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 解析古典文法（桐原書店） 読んで見て覚える古文単語315（桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版）		
学習の ねらい		・ 上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・ 文法事項を土台とすると同時に、古典文化の背景をもとにしながら、作品を読解する力を育成していく。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	【古文】 「兄のそら寝」『宇治拾遺物語』	古文に親しみ、読解の方法をおさえる。 動詞・形容詞・形容動詞 助動詞「ず」「けり」「き」/助詞「ど」「もぞ」「な一そ」/類出語	
	5 月	【漢文】 漢文入門	漢文の基本的な構造を理解する。 書き下し文・置き字・再読文字	
	6 月	【古文】 「東下り」『伊勢物語』	歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 和歌の修辞法 助動詞「つ」「ぬ」「たり」「なり」「り」「む」「むず」	
	7 月	【漢文】 「漁夫の利」『戦国策』	故事成語を理解する。 句型理解→再読文字／否定 重要語の確認→「臣」「方」「不肯」など	
	9 月	【古文】 「九月二十日のころ」『徒然草』	随筆として、作者の価値観を捉える。 →助動詞「まし」「べし」「なり」「る・らる」「す・さす・しむ」 助詞「の」「ば」／「いかでーか」 敬語の基礎を理解する 動作の主体を明らかにして本文を読解する	
	10月	【漢文】 「狐借虎威」『戦国策』	故事成語を理解する。 句型理解→使役/否定/禁止/反語 重要語の確認	
	11月 12月	【古文】 「木曾の最期」『平家物語』	軍記物語の特色を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 助動詞の総復習 音便/敬語（敬意の方向）の理解	
	1 月	【漢文】 「先從隗始」『十八史略』	史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理をおさえる。 句型理解→使役/抑揚/比較/反語 重要語の確認	
	2 月	【古文】 「門出」『土佐日記』	記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 用言・助動詞の総復習/紛らわしい語の識別（「ぬ」「なり」）	
	3 月	【漢文】 『論語』	句型理解 →再読文字等の復習 孔子の思想の特色や考えを理解する	
学習の 留意点・ 評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名		国 語 科	科 目 名	論 理 国 語
対象学年		高校2年	コース・選択等	コースⅠⅡⅢ
単位数		2単位	教科書 (出版社)	標準論理国語（第一学習社）
使用教材		・プレミアムカラー国語便覧（数研出版） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・ちくま文学講読上級編（筑摩書店） ・ことばはちからダ！現代文キーワード(河合出版）＊コースⅡ・Ⅲのみ使用		
学習の ねらい		・文章の構成や展開の仕方を論理的に分析する活動を通して、論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを筋道だてて表現する力を育成する。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4月	（評論）稲垣栄洋 進化が導き出した答え 【価値観・生命環境】	生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。	
	5月	（評論）高階秀爾 名所絵はがきの東西 【比較文化論】	絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。	
	5月 6月	（小説）中島敦 『山月記』	表に現れたものでは知り得ない、人間存在の内奥について考え、小説の構造をなす事項（時・場・人物・事件設定）や人物の心理を的確に読み取る。	
	7月	（評論）長谷川眞理子 「ヒトはなぜヒトになったか」 【人間と文化】	因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。	
	9月 10月 11月	（小説）夏目漱石 『こころ』	登場人物の心理的变化を正確に読み取り、明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取る中から、人間の精神のあり方について考える。	
	12月 1月	（評論）榎本博明 鏡としての他者 【自己と他者】	文章構造をもとに、筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。	
	2月	（詩歌）宮澤賢治 「永訣の朝」	リズムや語感を味わいながら詩を読み、言語感覚を磨く。比喩の効果を理解し、想像力を育成する。近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。	
学習の 留意点・ 評価など		・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をする。 ・【コースⅡ・コースⅢ】適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名	国語科	科目名	古典探究
対象学年	高校2年	コース・選択等	コースⅠ・Ⅲ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典探究古文編（第一学習社） 古典探究漢文編（第一学習社）
使用教材	解析古典文法 四訂版（桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版） 基礎学習システム 必修古典（数研出版） 基礎学習システム 必修古典演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 読んでみて覚える重要古文単語315（桐原書店）		
学習のねらい	・上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・文法事項を土台としながら、作品を読解する力を育成していく。 ・3年生に向け実践的な力を養う。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	【古文】説話 「歌ゆゑに命を失ふ事」『沙石集』	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・助動詞及び敬語の総復習をする。
	5月	【漢文】 「四面楚歌」『史記』	・追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 ・「仮定」「反語」「疑問」 ・漢詩の基礎知識
	6月	【古文】日記 「門出」『更級日記』	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	7月	【漢文】 「呉越同舟」	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・「使役」「疑問」
	9月 10月	【古文】物語 「若紫」『源氏物語』	・源氏物語について知る。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する（敬語・敬意の方向）。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	11月	【漢文】 「売鬼」『搜神記』	・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超自然的な存在に対する見方に触れる。 ・「疑問」「否定」「限定」「禁止」
	12月 1月	【古文】物語 「弓争ひ」『大鏡』	・『大鏡』の特徴を理解する。 ・敬語表現及び文法事項の総復習をする。
	2月	【漢文】 句形の演習	・これまで学んで来た句形について総復習をする ・演習問題を解く
学習の留意点・評価など	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名		国 語 科	科 目 名	古 典 探 究
対象学年		高校 2 年	コース・選択等	コースⅡ
単位数		3 単位	教 科 書 (出版社)	古典探究古文編 (第一学習社) 古典探究漢文編 (第一学習社)
使用教材		解析古典文法四訂版 (桐原書店) プレミアム国語便覧 (数研出版) 基礎学習システム 必修古典 (数研出版) 基礎学習システム 必修古典演習ノート (数研出版) 基礎から解釈へ 漢文必携 (桐原書店) 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート (桐原書店) 読んでみて覚える重要古文単語315 (桐原書店)		
学習のねらい		・ 上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・ 文法事項を土台としながら、作品を読解する力を育成していく。 ・ 3 年生に向け実践的な力を養い、受験への備えをする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	【古文】 説話 「歌ゆゑに命を失ふ事」『沙石集』	・ 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・ 助動詞及び敬語の総復習をする。	
	5 月	【漢文】 「四面楚歌」『史記』	・ 追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 ・ 「仮定」「反語」「疑問」 ・ 漢詩の基礎知識	
	5 月	演習問題	・ 入試や模試に向けた演習を行う	
	6 月	【古文】 日記 「門出」『更級日記』	・ 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・ 文法事項及び重要古語をおさえる。	
	7 月	【漢文】 「呉越同舟」	・ 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・ 「使役」「疑問」	
	9 月 10 月	【古文】 物語 「若紫」『源氏物語』	・ 源氏物語について知る。 ・ 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する (敬語・敬意の方向)。 ・ 文法事項及び重要古語をおさえる。	
	10 月	演習問題	・ 入試や模試に向けた演習を行う	
	11 月	【漢文】 「売鬼」『搜神記』	・ 一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超自然的な存在に対する見方に触れる。 ・ 「疑問」「否定」「限定」「禁止」	

学習内容 と流れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	12月 1 月	【古文】 物語 「弓争ひ」『大鏡』	・『大鏡』の特徴を理解する。 ・敬語表現及び文法事項の総復習をする。
	2 月	【古文】【漢文】 演習問題	・入試や模試に向けた演習を行う
学習の 留意点・ 評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 単語や文法事項などの基本的な知識を総復習し、適宜、小テストや演習問題を行い、受験に向けての実践的な力を養う。	

教科名		国 語 科	科 目 名	論 理 国 語
対象学年		高校 3 年	コース・選択等	コース I
単位数		2 単位	教 科 書 (出版社)	標準論理国語（第一学習社）
使用教材		・プレミアムカラー国語便覧（数研出版） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・ちくま文学講読上級編（筑摩書店）		
学習の ねらい		・文章の構成や展開の仕方を論理的に分析する活動を通して、論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを筋道だてて表現する力を育成する。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	（評論）平田オリザ コミュニケーションの文化 【人間と社会】	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて論点を明確にしなが重要を把握する。	
	5 月 6 月	（評論）谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」 【日本文化論】	美意識を見つめ直した古典的な日本文化論から、現代日本人の生活において、陰翳のあり方がどのように変容しているかを考える。	
	7 月 9 月 10月 11月	（小説）森鷗外 『舞姫』	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。	
	12月 1 月	（小説）恩田陸 『オデュッセイア』	擬人化された主人公の旅が、人類史という壮大なスケールの中で描かれていることを理解し、地球滅亡、新しいコミュニティを創出させる過程を読みとる。	
学習の 留意点・ 評価など		・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 ・小テスト等を行うこともある。		

教科名		国 語 科	科 目 名	論 理 国 語
対象学年		高校 3 年	コース・選択等	コースⅡ
単位数		3 単位	教 科 書 (出版社)	標準論理国語（第一学習社）
使用教材		・プレミアムカラー国語便覧（数研出版） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・ちくま文学講読上級編（筑摩書店）		
学習の ねらい		・文章の構成や展開の仕方を論理的に分析する活動を通して、論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを筋道だてて表現する力を育成する。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	（評論）平田オリザ コミュニケーションの文化 【人間と社会】	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて論点を明確にしなが重要を把握する。	
	5 月 6 月	（評論）谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」 【日本文化論】	美意識を見つめ直した古典的な日本文化論から、現代日本人の生活において、陰翳のあり方がどのように変容しているかを考える。	
	7 月 9 月 10月 11月	（小説）森鷗外 『舞姫』	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。	
	12月 1 月 2 月	入試対策・演習	演習問題を行い、実践的な力を養う。	
学習の 留意点・ 評価など		・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 ・通常の授業に加え、適宜演習問題を行い、実践的な力を養う。		

教科名		国 語 科	科 目 名	論 理 国 語
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅢ
単位数		2単位	教科書 (出版社)	標準論理国語（第一学習社）
使用教材		・プレミアムカラー国語便覧（数研出版） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・ちくま文学講読上級編（筑摩書店）		
学習の ねらい		・文章の構成や展開の仕方を論理的に分析する活動を通して、論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを筋道だてて表現する力を育成する。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4月	（評論）平田オリザ コミュニケーションの文化 【人間と社会】	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて論点を明確にしなが重要を把握する。	
	5月 6月	（評論）谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」 【日本文化論】	美意識を見つめ直した古典的な日本文化論から、現代日本人の生活において、陰翳のあり方がどのように変容しているかを考える。	
	7月 9月 10月 11月	（小説）森鷗外 『舞姫』	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。	
	12月 1月	入試対策・演習	演習問題を行い、実践的な力を養う。	
学習の 留意点・ 評価など		・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 ・通常の授業に加え、適宜演習問題を行い、実践的な力を養う。		

教科名	国語科	科目名	古典探究
対象学年	高校3年	コース・選択等	コースⅠ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典探究古文編（第一学習社） 古典探究漢文編（第一学習社）
使用教材	プレミアムカラー 国語便覧（数研出版）、基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版（桐原書店）、読んで見て聞いて覚える 重要 古文単語315、チャート式 基礎学習システム 必修 古文（数研出版）、基礎学習システム 必修 古文 演習ノート（数研出版）、基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店）、基礎から解釈へ 漢文必携 チェックノート（桐原書店）		
学習のねらい	古文・漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深める。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	（古文） 説話・宇治拾遺物語「袴垂、保昌に合ふ事」	展開や表現に即して袴垂の心理を追い、そこから浮かび上がる保昌の人物像を理解する。
	5月	（漢文） 逸話「不若人有其宝」（新序）	前半の逸話と後半の論説とを読み、人にとって宝とはどういうものかについて理解を深める。
	6月	（古文） 評論・風姿花伝	年齢に応じた稽古のしかたを説いた能楽論から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。
	7月	（漢文） 諸家の文章「漁夫辞」	漁夫と屈原の問答を対句に留意しながら読み、両者が主張する生き方の違いを把握する。
	9月	（古文） 物語・源氏物語「葵の上の出産」	長編物語としてのストーリーをたどりながら、「源氏物語」の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。
	10月	（漢文） 漢詩「長恨歌」前半部	構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。
	11月	（古文） 物語・大鏡「中納言争ひ」	歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。
	12月	（漢文） 漢詩「長恨歌」後半部	構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。
	1月	（古文） 随筆・枕草子「雪のいと高う降りたるを」	日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。
学習の留意点・評価など	状況に応じて小テストを設ける場合がある。		

教科名		国 語 科	科 目 名	古 典 探 究
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅡ
単位数		3 単位	教 科 書 (出版社)	古典探究古文編（第一学習社） 古典探究漢文編（第一学習社）
使用教材		解析古典文法 三訂版（桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版） 基礎学習システム 必修古典（数研出版） 基礎学習システム 必修古典演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 読んでみて覚える重要古文単語315（桐原書店）		
学習の ねらい		・ 長く人々が愛読し、鑑賞してきた古典作品の読解を通し、自身のものの見方や考え方を深める。 ・ 古典文法・古典背景を元にした適切な現代語訳をする。 ・ 共通テスト及び各種大学入試を見据えて適宜演習を行い、入試に向けて実力を養う。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4 月	【古文】 歴史物語 「菅原道真の左遷」『大鏡』	・ 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 敬語や助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	
	5 月	【漢文】 「刎頸之交」『史記』	・ 『史記』について理解する。 ・ 句形の復習（限定・抑揚・願望など）	
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。	
	6 月	【古文】 日記 「夢よりもはかなき世の中」 『和泉式部日記』	・ 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・ 助動詞の復習及び敬語事項の確認する。	
	7 月	【漢文】 「買粉児」『幽明録』	・ 人が蘇生する話を読み、古代中国の人々の魂に対する考え方に触れる。 ・ 句形の復習（限定・疑問・反語・仮定など）	
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。	
	9 月	【古文】 「葵の上の出産」『源氏物語』	・ 『源氏物語』の世界や表現方法を味わう。 ・ 敬語や助動詞の総復習	
	10月	【漢文】 「漁夫辞」	・ 漁夫と屈原の問答を対句に留意しながら読み、それぞれの主張する生き方を把握する。 ・ 句形の復習（疑問・反語・比較・選択・部分否定など）	
	11月 12月	【古文】【漢文】 入試演習	演習問題に触れて実践的な力を養う。	
学習の 留意点・ 評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名	国語科	科目名	古典探究
対象学年	高校3年	コース・選択等	コースⅢ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典探究古文編 (三省堂) 古典探究漢文編 (三省堂)
使用教材	プレミアムカラー 国語便覧 (数研出版)、基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版 (桐原書店)、読んで見て聞いて覚える 重要 古文単語315、チャート式 基礎学習システム 必修 古文 (数研出版)、基礎学習システム 必修 古文 演習ノート (数研出版)、基礎から解釈へ 漢文必携 (桐原書店)、基礎から解釈へ 漢文必携 チェックノート (桐原書店)、国語 マーク完答 古典 (尚文出版)		
学習のねらい	・ 古文・漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深める。 ・ 入試に向けて実践的な演習を行い、受験対策をする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 説話・宇治拾遺物語「袴垂、保昌に合ふ事」	展開や表現に即して袴垂の心理を追い、そこから浮かび上がる保昌の人物像を理解する。
	5月	(漢文) 逸話「不若人有其宝」(新序)	前半の逸話と後半の論説とを読み、人にとって宝とはどういうものかについて理解を深める。
	6月	(古文) 評論・風姿花伝	年齢に応じた稽古のしかたを説いた能楽論から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。
	7月	(漢文) 諸家の文章「漁夫辞」	漁夫と屈原の問答を対句に留意しながら読み、両者が主張する生き方の違いを把握する。
	9月	(古文) 物語・源氏物語「葵の上の出産」/演習	・ 長編物語としてのストーリーをたどりながら、「源氏物語」の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・ 入試対策演習を教科書と並行して行う。
	10月	(漢文) 漢詩「長恨歌」前半部/演習	・ 構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・ 入試対策演習を教科書と並行して行う。
	11月	(古文) 物語・大鏡「中納言争ひ」/演習	・ 歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 ・ 入試対策演習を教科書と並行して行う。
	12月	(漢文) 漢詩「長恨歌」後半部/演習	・ 構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・ 入試対策演習を教科書と並行して行う。
学習の留意点・評価など	1学期までは古文漢文ともに教科書教材を中心に文法、語句等を徹底的に身につけ、2学期以降は、演習問題にも取り組み、実践的な受験対策を行う。		

教科名		国語科	科目名	国語表現
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅠ A4
単位数		2単位	教科書 (出版社)	国語表現Ⅰ（東京書籍）
使用教材		国語表現ナビ（浜島書店）		
学習のねらい		日常生活における言語活動を、語彙・技術の面を含めて豊かにする。 言語・文字を用いない表現や、舞台芸術、日本の伝統芸能にも目を向け、理解を含める。 現代だけでなく、日本古来の優れた表現にも目を向けさせ、興味を持たせる。 実践活動を通して、表現力を確実に身に付け、表現する楽しさを実感する。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単元	ねらい	
	1学期 4月	自分を紹介する (原稿作成・スピーチ)	①自分を客観視するために、誰か（あるいは動物、物）になって自分を語る。 ②ふさわしい言葉や場面、適切なたとえを用いて紹介原稿を作成する。準備としてリフレーミング、自己分析を行う。 ③聞きやすい声、豊かな表現、動作で発表する。	
	5月 6月	舞台芸術における表現 (歌舞伎)	①日本の伝統芸能、文化の価値を学び、豊かな人間性を育む。 ②伝統芸能の一つである歌舞伎の歴史等を学び、将来に続く興味を育む。	
	7月	はがきの書き方 (季節の挨拶)	①日本の季節の挨拶を知る。 ②「二十四節気」について学ぶ。 ③手紙の歴史を学び、はがき等の書き方を身につける。 ④暑中見舞いはがきを毛筆で書き、書道に対する興味をもつ。	
	9月 10月	図書紹介	①自己の主張を的確に相手に伝え、相手を説得する表現力を身に付ける。 ②文章を簡潔にまとめるため、引用やキャッチコピーを効果的に活用する。 ③図書製本の各部の名称や、分類記号を学ぶ。 ④図書紹介のポスターを作成する。	
	11月	点字を学ぶ	①言語・文字を用いた表現以外にも表現の方法があることに気付く。 ②その一つである点字を学び、身近にある点字の表現を意識する。 ③点字の歴史を知る。 ④点字を読めるようになる。 ⑤点字器を用いて点字を書く。 ⑥点字を用いたクリスマスカードを作成する。	

学習内容 と流れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	12月	金城歌留多を作る	①金城学院中学・高校での思い出を振り返る。 ②思い出をウイットに富んだ短い言葉で表現する。 ③卒業生全員の思い出として共有する。
	3学期 1月	手紙の書き方 (恩師に進学先の報告をする)	①手紙(便箋・封筒)の形式を学習し、用途に応じた適切な手紙を書く。 ②時候の挨拶等、季節感を表す表現を身に付ける。 ③正しい敬語の使い方を身に付ける。 ④先生に実際に手紙を書く。
学習の 留意点・ 評価など	文章表現だけではなく、イラストや立体図形を用い、また、実践を多く取り入れて、現実在即した表現力を身に付けさせる。		
備 考	DVD等の映像教材や言語以外の表現を活用する。		

教科名		国 語 科	科 目 名	現代文演習
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅡ B1
単位数		2単位	教科書 (出版社)	_____
使用教材		論理的に考える LT実践長文読解 (浜島書店)		
学習の ねらい		入試に対応できる実践的な力を養う。「長い文章を正確に読み解く力」を身につけ、どのような文章にも対応できる力を養成する。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元 と ね ら い	留 意 点	
	1 学期	・ 毎週、評論と小説を交互に取り扱う ・ 文脈の流れ、ポイントとなる語句の対応関係などの内容分析を行う ・ 入試を意識し、要旨や主題、表現の特徴も確認する	・ 選択肢から正答を導き出せるようになるため、解答の根拠を明示して、実際に解く手順を示す。 ・ 読解のキーワードになる用語を適宜確認する。	
	2 学期			
学習の 留意点・ 評価など		定期テストにて実力問題も出題する。また、小テストを行う。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。		

教科名		国 語 科	科 目 名	共テ国語演習
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅡ B3
単位数		2単位	教科書 (出版社)	――
使用教材		新しい共通テスト 国語対策問題集 実戦レベル 合冊版（桐原書店）		
学習の ねらい		共通テストに向けた実践的な演習を行う。 また、基礎部分の復習などを通して確実な力を定着させる。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4月	論理的文章『自然を守るしくみ』 生物多様性基本法、 生物多様国家戦略	共通テストに向けた、実践的な演習を行う。 *状況に応じて扱う演習問題を適宜変更する。	
	5月	小説的文章『台所のおと』 実用的文章『やさしい日本語』 古文『俊頼髄脳』『無名抄』 漢文『隋唐嘉話』		
	6月	論理的文章『老いの空白』 小説的文章『波と樹の語ること』 実用的文章『人口減少と地方創生』		
	7月	古文『宇治拾遺物語』 『一条摂政御集』 漢文『臨安春雨初霽』・漢詩歴史		
	9月	論理的文章『音楽の聴き方』 『「わざ」から知る』 小説的文章『ひよこトラック』 実用的文章『伝統芸能』		
	10月	古文『風に紅葉』 漢文『譚海』		
	11月	論理的文章『持続可能な医療』 小説的文章『歴史と文化の旅 奥の細道吟行』 実用的文章『著作権』		
	12月	古文『近代秀歌』 漢文『韓昌黎集』		
学習の 留意点・ 評価など		定期テストにて実力問題も出題する。また、小テストを行う。「知識・技能」「思考・判断・表現」 「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。		

教科名		国 語 科	科 目 名	古 典 演 習
対象学年		高校 3 年生	コース・選択等	コースⅡ B 4
単位数		3 単位	教 科 書 (出版社)	_____
使用教材		完成古典（古文・漢文） 3ステップオリジナル問題集 ステップ3 （尚文出版） 重要古文単語315 （桐原書店） 解析古典文法 （桐原書店）		
学習の ねらい		古文漢文の基礎事項を復習しながら、実際の問題で読解につないで、大学入試に対応できる実力を養成していく。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元 と ね ら い	留 意 点	
	1 学期	・ 一学期では、古文と漢文を取り扱いながら、古文の助動詞と漢文の句形を中心に扱う。 ・ 古文、漢文における重要語句を毎回学習し、定着につなげる。 ・ 二学期からは入試問題を取り扱い、入試本番に近い形での取り組みを行う。 ・ 句形、助動詞を都度復習し、基礎事項の定着を図る。	・ 基礎事項の定着では、完成古典テキストやプリントを用いていく。 ・ 二学期以降は基礎事項の復習と、入試問題を扱う演習形式となる。 ・ 演習において、解答時間を厳守する。	
	2 学期			
学習の 留意点・ 評価など		・ 能動的な学びができているか。 ・ 実力養成のための演習になっているか。 ・ 本文などの根拠をもとに、問いを解くことが出来ているか。		
備 考				